

令和8年度 「志教育」全体計画

様式1

宮城県気仙沼向洋高等学校

校 訓
向洋三心「尚志」「創造」「力行」

本校の教育目標
個性と創造性の伸張を図り、豊かな人間性を育むとともに、専門的な知識と技能を習得させ、時代の進展に柔軟に対応できる人間を育成する。

生徒の実態、教師の願い
○挨拶ができる生徒が多く素直で素朴である。学習活動や部活動に集中して取り組むことができる。 ○地域活性化になるような活動に取り組ませ、様々な経験ができる環境に感謝する「心」を育てたい。

保護者や地域の願い
○基礎学力の定着、部活動の充実、それぞれの希望進路の達成。 ○地域の産業を担う人材としての成長。

「志教育」の目標
○勤労観や社会性を養い、社会人・職業人として自立する上で必要な能力や態度を育成する。 ○自らの生き方を探求し、主体的に学び目標を持って努力できる力を身に付ける。 ○よりよい人間関係を築きながら、地域や社会に貢献できる態度を育成する。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
○さまざまな人とのかかわりを通して、自己理解や他者理解を深化させる。 ○集団や組織の中で、よりよい人間関係を築く力やコミュニケーション能力、思いやりや社会性を養う。	○学校で学ぶ知識と、社会や職業との関連を実感させ、インターンシップ等を通して、進路を現実的に考えさせる。 ○将来、社会人として自らのあり方や生き方について主体的に探究させ、その実現に向け高校生活に精一杯取り組ませる。	○集団や組織の中で、自分の果たすべき役割と責任を認識させる。 ○地域や社会に貢献しようとする意識を高め、様々な活動に積極的に参画する。 ○自分の役割を果たすことで、自己有用感を高め、社会の中での生き方について考える。

各教育活動における取組の観点	
各教科	○基礎学力の定着と学力全般の向上を図るため、1時間ごとの授業を大切にす。 ○主体的に考え、調べ、表現する力の向上をめざす。 ○家庭学習の習慣化を図る。
道徳	○基礎学力の向上を図るとともに、進路希望達成のための学力を養成する。 ○基本的な生活態度や礼儀作法を徹底させる。 ○主体性、自主性の育成に力を入れる。
総合的な時間探究	○本校では「課題研究」(3年次に3単位)で代替。 ○グループごとに自主的にテーマを設定することで、自ら学び、考え、問題を解決する力を育てる。
特別活動	○特別活動の意義を理解させ、生徒会の諸行事に積極的に参加させる。その活動を通して、責任感や協調性、帰属意識を高めるよう指導する。
その他	○生徒の「居場所」を確保し、部活動を通して高校生活を充実させる。 ○各種の資格取得に積極的に挑戦させる。 ○本校生の長所である「挨拶」の励行。 ○身だしなみを自主的に整えられるように指導する。 ○生徒会やボランティア活動をさらに活発化させる。

各学年の取組内容	
1年	①新入生オリエンテーション ②進路ガイダンス(進路探究、職業別ガイダンス) ③基礎力診断テスト ④性教育講話、救急救命講習 ⑤上級学校出前授業 ⑥防災教育・避難訓練 ⑦清掃活動(学校周辺、近隣の海浜) ⑧3年生から学ぶ進路体験談(先輩のあしあと)
2年	①進路ガイダンス(企業講演、進路別ガイダンス) ②安全教育講演(インターンシップへ向けて) ③インターンシップ(5~10日 全員実施) ④企業見学、上級学校見学、上級学校模擬授業 ⑤基礎力診断テスト、実力診断テスト、各種適性検査 ⑥防災教育・避難訓練 ⑦清掃活動(学校周辺、近隣の海浜) ⑧3年生から学ぶ進路体験談(先輩のあしあと)
3年	①進路ガイダンス(進路別試験対策、模擬面接) ②基礎力診断・実力診断テスト、大学入学共通テスト模試 ③作文・小論文試験対策 ④上級学校模擬授業 ⑤防災教育・避難訓練 ⑥希望企業、希望学校の事前見学 ⑦社会人準備セミナー(マナー、税金、保険等) ⑧課題研究発表会

家庭との連携
○進路実現や学習指導、生活指導のため保護者面談等を通して、保護者との十分な意思疎通を図る。 ○PTA活動の振興・発展につとめ、各地域支部の活動の活発化を援助する。

地域・企業との協働
○清掃活動等で生徒の奉仕精神を高めると共に、地域と学校の信頼関係を築く。 ○就労体験を通して、地元企業と協力関係をつくる。 ○企業と協力し「ものづくり」や「製品開発」に取り組む。 ○地域企業による「キャリア教育講演会」を実施する。